



織笠白石中山間地域等直接支払協定組合で実施したソバ刈り体験の様子



三ヶ尻隆雄議員

産業振興

集落活動・産地直売の推進支援

資料の収集提供や相談、指導に努める

質問 次の3点を問う。

- ① 集落活動、産地直売の推進を支援するところがあるが、織笠白石中山間地域等直接支払協定組合の要望は進んでいるか。
- ② 肉用牛、繁殖牛飼育農家の現状は。
- ③ 黒毛和種飼育農家の今後の展望は。

沼崎町長 白石地区の計画の核となるものは水車の建設であるが、それを核とした加工施設や直売施設をはじめ周辺環境の整備など、地域で具体的な検討を行っているところであり、これらの作業に必要な資料の収集提供や相談、指導に努めている。

② 16戸で構成されている農事組合法人エコファーム山田の現状は、肥育継続

町の考えを聞く

環境整備

豊間根に合併浄化槽モデル建設 個人設置型の需要を見て検討

5戸、繁殖継続3戸、休業2戸、廃業3戸、転職1戸、養豚継続1戸、乳

牛継続1戸の状況である。③現在、子牛相場は下がり基調であるが、飼料価格高騰の見通しは、いまだ計り知れない状況にある。したがって、多額の融資を受けるこれまでのやり方では、黒毛和種の飼育は採算を取ることが困難な状況である。

質問 豊間根地区の集落で、合併処理浄化槽のモデル的建設を実施することができないか。

沼崎町長 現在進めている合併処理浄化槽の設置補助は、国の「循環型社会形成推進交付金事業」によるものであり、浄化槽設置や維持管理の方法で「個人設置型」と「市町村設置型」に区分され、本町では、第8次総合発展計画を基に「個人設置型」を実施している。

モデル的建設のイメージ

が不明であるため「市町村設置型」について述べたい。この事業は、初年度から3年間は毎年20戸以上の設置を実施するなどの要件があり、浄化槽の設置と維持管理を市町村が行い、下水道料金と同じ使用料を徴収するのが一般的である。また、10数戸以上をまとめて大型浄化槽で処理することも整備手法の1つで、個人設置型の需要を見ながら、将来的には検討したいと考える。